

眼科病院に患者から検診車



検診車の前で笑顔を見せる
石井さん（左）と福田理事長

長崎県の離島で半世紀以上にわたって無料検診を続けている福岡市早良区の福田眼科病院に25日、患者の女性から眼科専用の検診車が贈られた。同病院は無料検診のほか、災害時の被災地派遣などで活用すること

離島での活動 半世紀続ける

を検討している。

離島での無料検診は、病院の福田量^{はか}理事長(87)が1963年から始めた。現在は長崎県・五島列島の宇久島(佐世保市)と小値賀島(小値賀町)で行っている。

検診車を贈ったのは、福岡市西区の石井文子さん(91)。これまでも同市などに救急車や消防車を贈っている。福田理事長から離島に行く際、検診用の医療機器を車で運んでいることや、体が不自由なため検診会場に来ることができない人もいることを聞き、寄贈を申し出た。

病院で行われた贈呈式に

は、石井さんも車いすに乗って出席。福田理事長は「期待に応えられるように頑張りたい」とあいさつし、石井さんに感謝状を贈った。視力表などが搭載された検診車の側面には「石井文子号」と記されており、石井さんは「一人でも多くの人を助けてほしい」と話した。